

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

# またもや「謀略論」をもちだし 千葉「再建」の完全破産を告白！



決起！  
No. 21

ら敗北を「権力の謀略」のせいで、言

しまこそ全国で決起しよう！

全国の闘う仲間の皆さん！  
もはや大勢は決した。このような右翼的ペテンの  
引きまわしを排し、全国大会にむけ創意あふれる  
動労大改革を推進して行こう。

6/28、30 動労青年部第十九回定期全国委員会

## 「総連合」の羽音にまみれ、内部固めに大わらわ！

六月二八日（三〇日）、「動労」青年部第一九回定期全国委員会が函館市で開催された。しかし、およそ今回の委員会ほど、動員が落ち込み、討論も低劣なものばかりでなく、会場をおおった消耗感・疲労感の特筆すべきものがある。とりわけ、この一年間彼らが唯一血眼になつて「全力を投入してきた」という千葉「再建」問題が、今日完全に破綻をきたし、進むも退くもままならぬ「沼地」にズブズブとはまり込んでしまったことをあけすけに告白し、もはや勝利の展望は無くなったことをししぶ認めてしまった事は（当然といえば当然なことであるが）実に決定的な事態である。同時に、第二の特徴は、今日、「謀略が強まっている」なる手前みその「情勢分析」を唯一の根拠にして、全ての闘争課題をつぎつぎと投げ棄てていくことを全面的に路線化しはじめたことである。とりわけ、今開始されている国鉄再建大合理化攻撃に対し、公然と「55・10合理化承認」路線を展開している事を怒りをこめて徹底弾劾し、このような反労働者の集団の掃蕩動労大改革の前進を勝ちとっていかねばならない。

### 千葉問題 総括

「千葉「再建」は極めて困難・・・と泣きごと

### 唯一の方針

「ガタついた組織のたて直しを急げ・・・」

彼らは、この一年間のとりくみを「五段階」に区分し「総括」している。

- 第一段階―八排除のための下地づくり―「津山大会での反動的路線と暴力支配」「9・17問題」デッチ上げ等▽
- 第二段階―八具体的着手―「査問委設置」等▽
- 第三段階―八暴力的破壊を開始―「執行権停止に値いする」決定等▽
- 第四段階―八千葉にのり込む―3/19、20第一次オルグ▽
- 第五段階―八統制処分発動と全国のべ三万名動員の暴力的破壊介入―「4・17津田沼襲撃」「第二次オルグ」等▽

この中に、はっきりと示されている事は、動労千葉の断乎たる闘いの前に、ズルズルと「大変困難な事態」になるまで彼らが引き込まれてしまった事を正直に描写してしまっている。

とりわけ、「第五段階」（今日の事態）の中では、「動労千葉の結成と、その後の力強い前進」にうちのめされ、中江前副委員長長の辞任・決起、

「千葉地本・地青再建の闘いの困難性―それは中野一味の背後に国家権力がある・・・謀略攻撃が一段と強化され・・・」以上のような困難ななかでの千葉地本・地青再建―ということ踏まえ、次のような闘いを展開することとする。(1)再建のための土壌は概ねつくられつつあるので・・・(2)全国での組織体制を早急に構築すること・・・(3)「動労総連合」の妄想は依然として残存している・・・中江オルグを絶対に阻止すること・・・(中江を見つけたら)支青↓地青↓本部青にすぐ連絡せよ・・・何とこれが暴力とデマ、三万名の強制動員と一億四千万円の組合費をつぎこんだ「一年間の全力のとりくみ」の唯一の「成果」「方針」だということだ!! (なるほど、「成果主義におち入るな」とはよく言ったものである)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

# 日刊 動労千葉

79.7.8  
No. 21 全国版

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二五八〇九・（公巻品）二七二〇七